

日本共産党 尾崎あや子

一、 都立村山特別支援学校の建て替えについて

都立村山特別支援学校は、築43年になります。保護者の方々からは「雨漏りがする」「冬は玄関や廊下が寒いのでなんとかならないか」などの要望が出されてきました。この間、修繕や玄関・廊下にビニールシートを使って寒さ対策などに工夫してきました。

私は、入学式・卒業式だけではなく学校の見学もさせていただきましたが、職員会議も会議室がないために職員室で行っていることがわかりました。

2018年度予算案に都立村山特別支援学校の建て替えにかかわり、仮設の設計の費用が盛り込まれました。都立村山特別支援学校は身体に障害のある子どもたちが通っています。仮設校舎での車いすでの移動や通学バスからの移動などについて、どうなるのか不安・心配もあります。

校舎の建て替えについては、保護者や住民の要望も丁寧に聞いていただきたいと思います。

そこで、いくつか質問します。

Q1、都立村山特別支援学校の建て替えについて、現時点で、どこまで具体化されていますか。

Q2、仮設校舎の建設場所が決まりましたが、使える面積はどのくらいですか。

Q3、仮校舎を建設場所は、道路の幅が狭く建設のためにトラックなどが通ると大変危険です。建設現場の安全対策の強化を要望しますが、いかがですか。

Q4、仮設校舎では、通学バスの駐車場が不足するのではないですか。他に駐車場を借りるのですか。

Q5、仮設校舎では、体育館やプールなどはどうなるのですか。

Q6、仮設校舎での災害時対応はどうするのですか。

Q7、仮設校舎であるために、移動などに不都合が生じた場合、人員を増やすなど対応が求められますが、いかがですか。

Q 8、都立村山特別支援学校の裏手に、避難所に指定されている雷塚公園があります。町会や地元住民の方々から「災害時、雷塚公園に避難する場合、通常の道路では、ぐるりと回るためかなり時間がかかる。都立村山特別支援学校の中の通路を使わせていただくと短時間で、混乱せず避難できるので、学校に協力してほしい」の強い要望が出されました。現在は、武蔵村山市との話し合いも行われ災害時には「協力」してもらおう約束になっています。隣には、国立感染床研究所（村山庁舎）があり、最近、避難所になっている雷塚公園に通じる1m幅の歩道ができました。しかし、災害時の混乱を避けるためには、新校舎が完成した場合でも同じように対応していただきたいのですが、いかがですか。

二、 所有地の活用について

私の地元である東大和市内には、都営住宅・東京街道団地があり建て替えが行われます。この間の住民の方々からは、住居ゾーンの他に、公園ゾーン、公共公益施設ゾーン（運動広場、生活支援施設）が設置されることについて、さまざまな意見や要望も出ています。

住民の不安を解消するために、いくつか質問します。

Q 1、東京街道団地の建て替え計画の進捗状況について、うかがいます。

Q 2、今後のスケジュールについて、うかがいます。

Q 3、周辺の商店主の方々から、運動広場について、砂埃や騒音の問題で不安の声が出されています。砂埃や防音対策などについて検討されていることはありますか。

Q 4、運動広場周辺に駐車場スペースをつくってほしいとの要望がありますが、いかがですか。

Q 5、「公共公益施設ゾーン」には、どのような施設整備を検討していますか。

次に、都営住宅・向原アパートの建て替えにかかわる創出地についてうかが

います。

Q 1、向原アパートの創出地活用について、進ちよく状況について、うかがいます。

Q 2、北側 1. 8ヘクタールには都立特別支援学校の新設を東京都は想定していますが、1. 8ヘクタール全部を使う予定になっているのかがいます。

Q 3、南側 2. 7ヘクタールについては、どのように考えているのか、うかがいます。

Q 4、南側 2. 7ヘクタールについて、子育て・高齢・障害の半額貸与による施設用地としての活用の可能性はあるのですか。また、条件などについて、うかがいます。